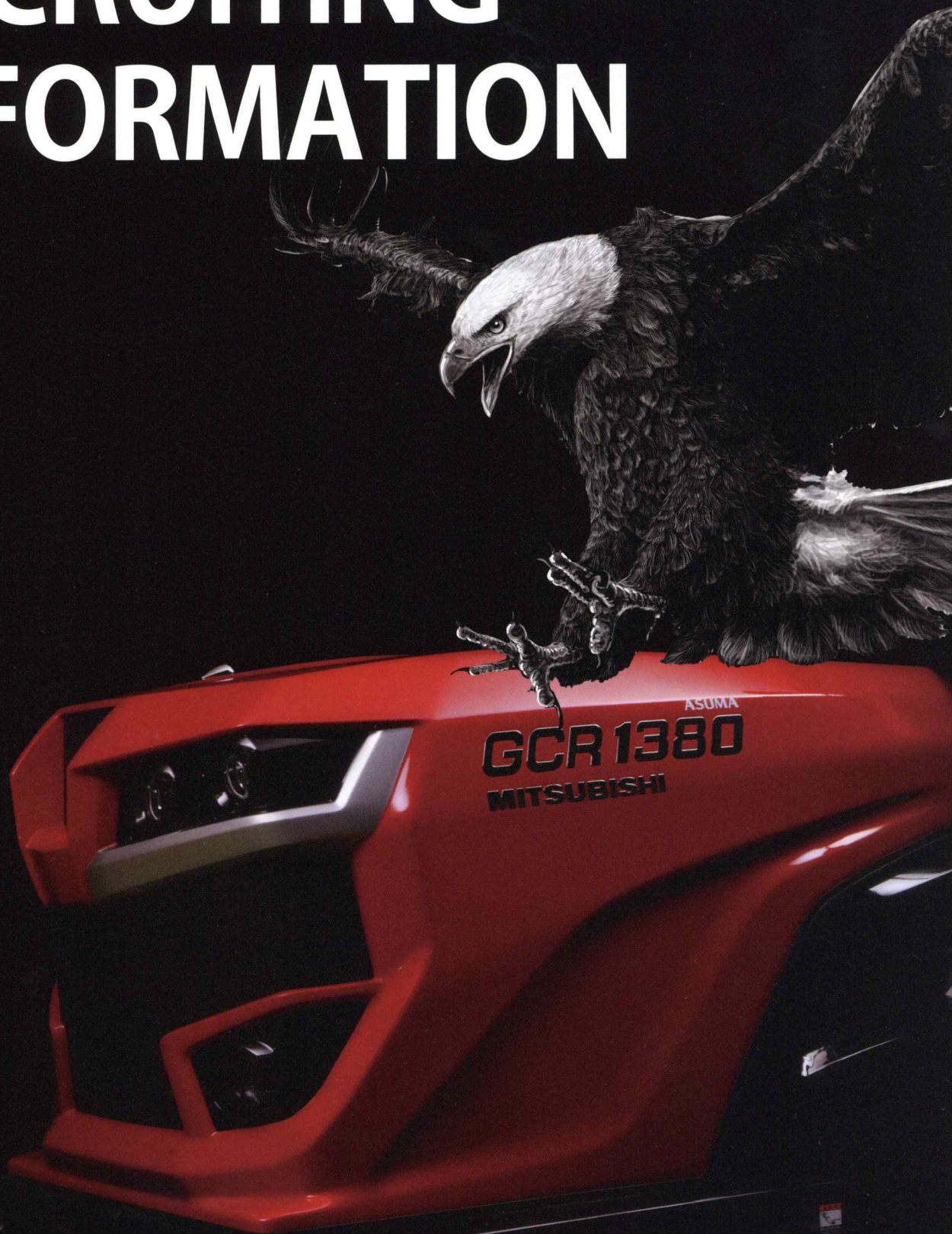
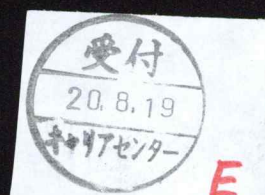


RECRUITING INFORMATION



MITSUBISHI MAHINDRA
AGRICULTURAL MACHINERY CO., LTD.



長く強くあるために

農業の未来、食の未来を

ずっと支えるために

お客さまを、物づくりを

そして社員ひとり一人の

らしさを大切にする会社です

長い未来への一歩を

この会社で一緒に踏み出しませんか

Long Life...

COMPANY 会社概要

会社名	三菱マヒンドラ農機株式会社	資本金	45億円
創業	1914年（大正3年）	従業員数	294名
代表者	CEO 取締役社長 末松正之 CFO 取締役副社長 Sudhir Kumar Jaiswal	連結売上高	448億円（平成29年3月期）



MESSAGE メッセージ

私たち「三菱マヒンドラ農機」は1914年に創業し、1世紀を超えて人々の食・農業を支えて参りました。

創業当時は木製稲扱機を発明し、従来の人力による農業から機械を用いた農業へ新たな流れを創り出しました。

100年を超える歴史の中で積み重ねた技術力を基盤に、現在は活動するステージを世界に広げ、世界の田畑に向けて多種多様な農業機械を送り出しています。そして

2015年、農業機械・自動車・航空機等の分野で世界的に活躍している、インドの「マヒンドラ&マヒンドラ社」と資本提携しました。これを契機とした世界規模での事業展開を加速させるために、更なる技術力、営業力の向上が急がれます。

そのためには次世代を切り拓く『人財』が必要です。

そこで現在、当社の社員は一丸となって『成長』し続けるため、右記の3点を心掛けています。

GROWTH

成長し続けるには？

1. 心の縛りを解き放とう

自ら作り上げた殻を破り、その先にある新しいチャンスをつかむべく、まずは心の中にある架空のボーダーラインを一度壊してより自由に考えてみましょう。自分自身で限界を決めてしまっては更なる成長は見込めません。

2. 常に代替案を

何かに取り組むとき、全てが想定通りに進むとは限りません。臨機の対応や迂回コースを迫られることは皆さんも日常生活でよく経験されることでしょう。その際、あらかじめ「次善の策」を考えておくではありませんか。

ビジネスにおいても同様に、ベストなシナリオを外れても目的に達する代替的なゴールイメージを用意しておくことが大切です。お客様の期待や困りごとに手を変え品を変えて寄り添えるよう、情報とアイデアの引き出しを増やし続けましょう。

3. 前進ギアを上げよう

まずはマインドを前向きに固定し、ゴールイメージを描き続けてください。そして、前進を始めたらそのギアを上げて行きましょう。ビジネスには巡航速度もスピード違反もないのだから。価値あるプロとしての業務品質をよりスピーディに社内外へお届けできるよう、全速力で物事に取り組みましょう。

このように、社員一人ひとりが自らの価値や能力を際限なく向上させることを求めています。皆さんの秘めている可能性を開花させるために、入社後も学ぶ機会を設け、継続したサポートで支援します。

農業機械は特殊分野と思われるかもしれませんが、昨今の食糧需要の側面から考えても、世界中で通用するビジネスです。日本の農業従事者を支援し、食糧供給に貢献することはもちろんのこと、表面的な意味ではなく、本当のグローバル企業を目指している皆さん、「三菱マヒンドラ農機」で、日本のみならず世界に向けてあなたの力を思う存分発揮してください。

三菱マヒンドラ農機株式会社
CEO 取締役社長

末松 正之

日本のモノづくりの誇りを、持ち続ける5部門

日本・世界の農業をサポート
5部門 "One Team" で挑戦！

01 開発設計部門

- ・トラクタ、コンバイン、田植機、管理機の設計、試作、研究
- ・次世代技術の試作、研究
- ・特許、商標権などの知的財産管理

02 国内営業部門

- ・展示会等イベントの企画、運営
- ・広告宣伝 (HP 管理、CM・ポスターの企画)
- ・部品、提携商品の仕入れ、販売、営業
- ・国内販売計画の策定、売上管理

03 海外営業部門

- ・海外取引先への商品販売
- ・海外の取引先販路開拓
- ・海外の商品展示会への出展

04 管理部門

- ・経営計画の企画立案
- ・総務、経理等全社管理
- ・内部統制活動

05 施設営業部門

- ・農業用施設の施工、販売、据付
- ・農業用施設の施工管理

01 開発設計部門

課題へのチャレンジ、試行錯誤、
そして生まれる商品への愛着
その先に使い手の笑顔が待っている

「図面と向き合うだけ」では技術者の仕事とは言えません。電卓やCADを駆使すると同時に工具も握る。試作組立や量産立ち会い、お客様との意見交換も行う。常に現場を意識し、仕上げた図面を更に磨き上げることでようやくカタチとなります。設計から生産まで、全てに携わってこそ感じるモノづくりの醍醐味。それが開発設計部門を支える技術者の特権です。



世代を超える強い絆を築く
それが私たちの使命



02 国内営業部門

国内営業部門は、直接お客様と接し満足頂ける機械を販売するほか、お客様に商品やブランドを知って頂くための広告宣伝の企画立案や、展示会の企画、農作業に欠かせない作業機械の調達など、全ての業務がお客様につながっていきます。お客様との窓口となり、世代を超える強い絆を築くことが私たちの使命です。

農業機械を通じて、世界の食糧受給率に貢献する
島根から世界へ私たちの挑戦は続く

03 海外営業部門

世界中で食糧増産が急がれる中、農業機械需要の高まりと比例して、機械に求められる性能も高くなり、日本製の機械の需要は年々と高まっています。海外営業部門では、北米・ヨーロッパ、東南アジアの他、世界各国に向けて当社製品の販路を拡大し、三菱農業機械ブランドを全世界へ広げていきます。全世界に向けて私たちの挑戦は止むこと無く続いていきます。



04 管理部門

管理部門は、人事や給与計算、規則管理、設備管理などの業務を通じて社員全員が働きやすい環境を整え、また、経理や経営企画など、企業活動を行う上で無くてはならない業務を行っています。決して目立つ仕事ではありませんが、日々奮闘する社員を支え、会社経営をよりよくするサポートを行う、黒子のような存在です。

全社員の円滑な
業務遂行をサポート
スキルアップも支援

農業の未来をみつめ
先進的な農業施設を提案し
お客様のトータルサポートを目指す



05 施設営業部門

農業機械だけが農業に必要とされる技術ではありません。病気や害虫の発生を防ぐための種籾消毒や、年間を通して安定した収穫をサポートする温室ハウス、省力化・高付加価値化を後押しする水耕栽培施設など、農作物の増産には農業用施設が不可欠です。施設営業部門は農業用施設の建設・普及を通じて日本農業と農家の皆様の省力化に貢献します。



QA

三菱マヒンドラ農機 Q&A

Q 福利厚生のことを教えてください

A フレックスタイム制度、ノー残業デーなどの制度により仕事だけでなくプライベートを充実させることが可能です。また将来の疾病、ボランティア活動への参加等利用できる積立休暇制度、転勤時の住宅補助、共済金制度により結婚祝い金、子供の入学祝い金の支給、海外業務担当や英語に興味がある社員の英会話受講料の補助を行っています。

Q 新入社員の教育について教えてください

A 入社後1ヶ月は農業、農業機械の基礎研修、マナー研修、安全研修を中心に行い、農業機械を知らなくても入社後に知識習得ができます。2ヶ月目は生産工場体験実習をし、ものづくりを学びます。3ヶ月目は、仮配属研修とし配属予定先での基礎研修を受講、開発設計部門配属予定者は、設計マニュアル、CAD実習。営業部門配属予定者は農業機械の構造、メンテナンス、安全教育。事務部門配属予定者は、規則、パソコン操作、接客対応など先輩社員がマンツーマンの指導を行います。配属後は、ブラザー制度（先輩指導員からの個別指導）により、アドバイスを受けながら日々を過ごします。
新入社員営業研修として皆で展示会へ参加し、会場設営、商品紹介、商品オペレータ、片付けを経験し、配属後も新入社員同期のつながりも大切にできます。新入社員の成長を楽しみながら、コツコツとサポートして参ります。



Q 島根での一人暮らしは初めてですが、住宅施設がありますか？

A 独身寮（一部社員は会社借上住宅が適用）があり、1ヶ月の家賃は1万円と格安です。先輩社員も入寮しており、一人暮らしの寂しさ、不安も解消できると思います。

Q 将来希望する配属先を申し出ることができますか？

A 長い会社生活となり、将来活躍したい分野、配属先、勤務地など、社員のビジョン、生活環境により変化して当然です。当社では「自己申告制度」があり、将来希望する配属先や勤務地はもちろん、従事している業務の仕事量、人間関係を申告できます。社員の希望がすべて叶うわけではありませんが、状況に応じて配慮できるような取り組みを行っています。



INTERVIEW インタビュー



開発・設計部
田中 大地

1. 従事している仕事

コンバインの電装関係の開発設計

2. 当社への志望動機

私は実家が農家ということもあり幼いころから農業や農業機械は身近な存在で農業機械を運転する父の姿に憧れていました。家の手伝いで農機を運転したり整備したりする機会が多々あり、将来は農業機械に関わる仕事に就きたいと思っていました。

農業をする立場から支える立場へ、日本だけでなく世界の農業に関わることのできるこの会社と思い志望しました。

3. 新入社員研修の感想

ビジネスマナーや工具の使い方、機械の構造、操作方法などバリエーション豊かな研修を受けました。同期全員での実作業体験、講師のムードのおかげで同期とも早々に打ち解け、仲良くなりました。

4. 職場の雰囲気

過ごしやすく明るい雰囲気です。仕事の相談もしやすく、仕事の話以外にも美味しいお店や趣味の話で盛り上がり、コミュニケーションが溢れ、笑顔のある職場です。先輩方は農機のプロフェッショナルばかりで頼れる存在です。

5. 当社の魅力

日本全国に販売拠点があり、圃場テストに行ったりもするので全国各地の方と関わりを持てることは大切なポイントです。また外資が入り海外との関わりが増えたことも魅力だと思います。グローバルな会社の一員として世界の農業を支えることができます。海外と日本の農業の規模の違いを知りそれを現地で実感できるのは当社ならではの強みでもあると思います。



経営企画部
岩本 桜子

1. 従事している仕事

グループ経費の集計分析、会議の資料作成や諸資料の英訳

2. 当社への志望動機

大学でインドについて学び、留学経験を活かし、インドとつながりのある会社に勤めたいと思い当社を志望しました。地元である島根で、グローバルな企業に勤めたいと考えていた私にとっては、魅力的な会社でした。

3. 入社前と入社後のギャップ

社会人として働くことは過酷と想像していましたが、実際には女性も多いこと、フレックスタイム制、ノー残業デー等もあるので仕事時間とプライベート時間のバランスが保て、働きやすい環境でした。

4. 新入社員研修の感想

文系大学を卒業し、農業や機械に関しての知識が全くありませんでしたが、研修で先輩から丁寧に指導いただいたこともあり、農業機械の基本的な構造や自社製品の特徴を理解することができました。

5. 入社して良かったこと

興味があったインドや農業に関する仕事に携われたことです。また、業務を通して学生時代とは違うビジネス英語も習得できることに加え、経理関係の知識も得る事ができる事です。自らの得意分野を伸ばしつつ、新たな分野へのチャレンジもでき、充実した毎日が送れています。フレックスタイム制も気軽に使えるので家庭をもっている社員や女性にとっては働きやすく、長く勤めることができる会社だと思います。



開発・設計部
佐藤 大亮

1. 従事している仕事

国内で販売するトラクタの設計

2. 当社への志望動機

ものづくりをする仕事は作業の分業化をされている企業が多いと企業研究の中で知りました。当社は自分の作った構想や図面を元に、設計、試作、生産まで最後まで見届けられることができるため、やりがいのある仕事だと感じ志望しました。

3. 新入社員研修の感想

今までに経験したことが無かった農業や農業機械についての基礎研修があり安心しました。学科のほか、実習室で商品の分解組立、農業機械の積み込み作業や、圃場での運転操作実習を受けることができ、当社で働く上での地盤が少しずつ形成できました。また同期全員と過ごした貴重な時間でした。

4. 職場の雰囲気

職場内の先輩からは度々声掛けをいただけます。また部署が違う人でも声をかけていただいたり、時には手伝ってもらえるようなあたたかい雰囲気。先輩は、部門関係なく横のつながり・連携を大切にされ、とても仲が良く私も早く混ざりたいです。

5. 当社の魅力

メーカーなので技術があることはもちろんですが、何よりも社員同士の繋がりが強いところが魅力だと思います。他の農業機械メーカーと比較し社員が少ないのですが、その分チームプレイは他社よりも強く、負けたくないと思います。正式配属後、先輩社員がマンツーマンで指導していただけるプラザー制度があり、小さな相談にも回答や指導してもらえます。



市場開発統括部
鈴木 康仁

1. 従事している仕事

開発計画の立案、新商品の企画業務

2. 当社への志望動機

農業に革命を起こしたい。世の中にある農業・農家に対するイメージ（田舎、ダサい、汚い、きつい、儲からない、危険、お年寄りなど）を真逆なものにしたい。また全く新しい栽培方法や全く新しい農業機械（1台ですべての作業が出来る超汎用性のある機械等）を生み出したい、そんな思いで自分はどこまでできるか試したいと考え志望しました。

3. 仕事のやりがい

入社し営業マンとして、農家、農業と数年向き合い、培った経験を元に、商品コンセプトをつくり上げ今まで世の中にもないものを創り出せること。そして営業マンが胸を張って販売できる製品へ仕上がり、ユーザーの方々の笑顔を見れたとき。

4. 当社が同業他社に負けないところ

コンバイン・田植機の作業精度や、製品全般的に強く頑丈で長く使えると評価される所です。

5. 業務で心掛けていること

人とのつながりの大切さ、相手の気持ちになって考え行動することを心掛けています。

6. 当社の好きなところ

“人”業務を進める中で、不器用で真面目なところ。皆、人間味があつてとても好きです。

7. 就活をしている学生へのメッセージ

社会人は強いメンタル、気持ちが必要です。それには、大きな夢や目標あるいは野望を持って就職して欲しいと思います。



農業は手作業から機械作業へ。

如何に農業従事者の農作業の快適、効率、安全を確保するか。
高負荷にも耐え、農業従事者の愛着が注がれる機械でありたい。
私たちはものづくりにより、食糧自給率向上への貢献を目指しています。

Rice transplanter



田植機

暖かくポカポカとした春の1日。
農家の豊作の願いを一身に受け大切に育てられた苗を、
水の引かれた田へ移植する。直進性能を発揮し、
真っ直ぐに等間隔に並ぶ苗をみて笑顔になれる田植機。

植える

春

Combine



コンバイン

気温、日照、風雨などの自然環境を受け大きく実った稲穂。
一気に刈り取り、籾と藁を選別し、籾一粒の取り残しも見逃さない。
農家の刈り取りタイミングを逃さず、高効率な収穫を目指すコンバイン。

刈り取る

夏

秋

冬

耕す

Tractor

トラクタ

田畑を耕し、栄養素、酸素、柔らかな土、
農作物の育成に必要な環境・土壌づくりを行う。
様々な圃場特性に対し厳しい耐久試験をクリアし
高耐久性を兼ね備え、長く使って頂ける
LongLifeパートナーとして農家を支えるトラクタ。



四季を通して農業のチカラになる、
私たちは日々未来の食と笑顔を生み出す仕事をしています。

お客様との絆を大切に育てる。

農業機械の販売・サービス

「三菱農機販売株式会社」は、三菱マヒンドラ農機株式会社の100%子会社として、国内での農業機械の販売・サービスを担う会社です。私たち「三菱農機販売株式会社」は農業機械を通じて、日本の農業発展と農作業の効率化・軽減化に寄与すべく、日々努力して参りました。

「～ Long Life～ 人も道具も、長く強く。」のブランドコンセプトを胸に、お客様や農業に携わる全ての人々とのふれあいや「絆」を大切に育てています。

私たち日本人の食を支える農業はとても広く、奥深い産業です。作付けする種類によって作業体系が異なるのはもちろんのこと、同じ品種でも、場所、時期によっても大きく異なります。私たちは、そのような一人一人のお客様の農業に対するニーズに丁寧に応え対応することで、お客様の笑顔に出会えることを目指しています。

農業や農業機械が好きで興味がある方、やる気のある方は一緒に働いてみませんか!!



菱農エンジニアリング

グループ会社 / 菱農エンジニアリング採用紹介

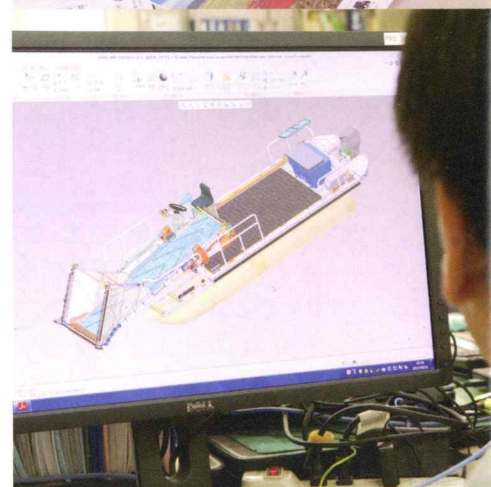
「ものづくり」の新しい未来を、 私たちと一緒に作りませんか。

農業機械の販売・サービス

私たちは農業機械や生産設備の開発設計から試作機製造、実験解析、販売資料作成までトータルでものづくりをサポートする開発型技術集団です。「三菱マヒンドラ農機」の開発設計支援が事業の主体で、そのほかにもお客様のニーズに応じた洗浄装置や自動化装置の設計・製作も幅広く手がけています。2次元・3次元CAD、3Dプリンターなど山陰エリア屈指の開発環境を整え、あらゆるニーズに的確にスピーディーに対応しています。

自社オリジナル製品の開発にも積極的に取り組んでおり、平成4年には倉庫や休憩所として利用できる「ダイヤハウス」の製造販売をスタート。平成8年には東京都水道局との共同開発で「浄水場汚砂処理装置」を開発しています。また松江市産業支援センターのものづくり補助事業として、行政課題である堀川の水草刈り取り駆除を解決すべく開発した「新型藻刈船」は平成27年から堀川で使用されており、現在も複数の自治体から引き合いが寄せられるなど、高い評価を得ています。

少数精鋭でものづくりに取り組める「フレキシブルさ」は当社の大きな強みです。ものづくりの一連の流れを経験できる上に「発想力」を活かせる場面も多いので、「ものづくり」が好きな人にとってワクワクできる環境が当社には広がっています。もちろん、国内外に流通する農機設計を手掛けられるのも大きな誇りであり、ほかでは味わえない醍醐味です。何事も前向きに挑戦できる人材に期待しています。



積み重ねた技術力で世界基準

農業機械の製造

私たち「リョーノファクトリー」は三菱重工グループの一員として、グループの持つトータル技術を最大限に活用し、国内外で活躍する三菱マヒンドラ農機のトラクタ・コンバイン・乗用田植機の製造を一手に担う会社です。ものづくりに関するすべての工程を有しており、部材の調達からプレス・レーザー加工・溶接・塗装・組み立てまで一貫して扱える体制を整えています。また治具・器具・金型については、自社内で設計・製作をするなど「ものづくり企業としてのこだわりとプライド」を持って生産に向かっています。

グループのブランドイメージ「Long Life」を大切に、従前より「丈夫で長持ち」との評判が高い製品の「品質」を守り、さらなるレベルアップを目指しています。ものづくりはその一つ一つの工程に多くの人が携わり、周りとのチームワークがとても大切。「仲間を大事にする」という風土の中、コミュニケーションも取りやすく仕事も円滑に進めることが可能です。

スケールの大きなものづくりに携われる環境の中、この島根の地でしっかりと腰を据えてものづくりに熱中したい方を大募集しています。



ダイヤコンピュータサービス

グループ会社 / ダイヤコンピュータサービス採用紹介

常に、よきパートナーでありたい。

コンピュータソフトウェアの開発・販売/ソフトウェア開発及びシステム運用・保守の業務受託
コンピュータ・O A 関連機器・O A サプライ品等の販売

当社は、1987年に三菱農機(株)(現、三菱マヒンドラ農機(株))から分社して以来、コンピュータシステムの企画・開発はもとより、運用・保守に至るまで、当社の技術力を結集した高品質で効率的なサービスをご提供することにより、多くの皆さま方から信頼をいただけてまいりました。

主に、三菱マヒンドラ農機グループの基幹システムの開発・保守・運用をはじめとして、農機販売店向けシステムの開発、製造業向け生産管理システムのパッケージ開発、大手電機メーカー他のシステム受託開発等の事業を展開してまいりました。お客様の経営上の課題や問題点の一つひとつを深く理解した上で、最適なソリューションをご提案することが、当社の重要な使命と考えています。

技術革新の速度はますます高速化し、短期間で大きな環境の変化をもたらす時代に入っています。私たちはこれからもいち早く周辺環境の変化を察知するとともに、常に新しい技術を取り込み、時代の流れに負けることなく、積極果敢に事業を展開していきます。そして、何よりも「お客様第一、信頼されるダイヤコンピュータサービス」をモットーに、高品質の情報処理サービスのご提供を通して、お客様の経営の高度化、業務の効率化のお役に立ちたいと考えています。



Long and Strong Life for Human and Tools

 **三菱マヒンドラ農機株式会社**

〒699-0195 島根県松江市東出雲町揖屋 667-1

連絡先：総務部 採用担当

TEL:0852-52-2111 FAX:0852-52-5877

<http://www.mam.co.jp/>

E-mail: mam-saiyou@mam.co.jp